

# 令和4年度 事業報告

令和4年度における当連盟の活動は、次のとおりでしたので報告いたします。

## 1 会議の開催

- ・常任総務会：4回（1/19、4/6、8/31、12/7）
- ・総務会：2回（2/9、10/5）
- ・評議員会：2回（3/2、11/9）
- ・監査会：1回（2/24）
- ・支部長・地域連盟会長会議：1回（4/20）
- ・参議院議員選挙 選挙対策会議：1回（5/25）
- ・参議院議員選挙結果報告会：1回（10/5）

## 2 会員増強運動

支部・地域連盟の会費請求時や地域薬剤師会の入会時に行って頂いた。

直接請求の支部へは、非会員全員へ納付書を送付し89名の入会を得た。

日本調剤は新たに6店舗（旭、中原、宮前、平塚、茅ヶ崎、厚木）より入会頂き、19店舗となった。

令和4年7月～10月までの県薬入会者55名に対し、県薬連より入会案内を送付し4名の入会を得た。

## 3 神谷まさゆき 第26回参議院議員選挙

令和4年7月10日投票の第26回参議院選挙において、全国127,188票、神奈川県では7,030票を獲得し、藤井基之議員の後継者として当選を果たし、組織内議員2名を維持できた。コロナ禍にあったが、神谷まさゆき氏と共に2月、5月、6月の14日間で薬局訪問を行った。小田原市・川崎市・鎌倉市・厚木市・秦野市・伊勢原市・横須賀市・茅ヶ崎市・平塚市・相模原市・横浜市の薬局や卸の612軒。自民党議員のパーティー・支部大会で宣伝活動を行った。街宣車遊説活動では、7/4～7/6の3日間に亘り地元議員19名、役員21名、地元薬剤師59名の協力のもと街頭・駅前での選挙活動を行った。

支援者名簿9,869名、電話作戦2,408件、選挙ハガキ4,436枚、政党ポスター5,000枚・選挙ポスター2,800枚配布、地域薬剤師会・連盟の会議への参加6回  
協力頂いた国会議員14名、県議12名、横浜・川崎市議11名

## 4 イベントの開催

「神谷まさゆき君を励ます会」を5/25に開催し、藤井基之・本田顕子参議院議員、松本純前衆議院議員、三原じゅん子参議院議員、浅尾慶一郎前衆議院議員、自民党県連梅沢幹事長、支援団体にもご出席を頂いた。

（総勢94名：来賓15名、役員50名、一般44名）

## 5 機関紙の発行その他事業

### (1) 連盟だよりの発行

神奈川県薬剤師会会誌「薬壺」に連盟だよりを掲載した。(年6回、1回あたり4頁~6頁) 毎号藤井基之・本田顕子参議院議員の国会報告、松本純前衆議院議員及び神谷まさゆき組織内候補の活動報告を掲載した。

本連盟の掲載記事

- 1・2月号 新年会長挨拶
- 3・4月号 令和4年度活動方針・事業計画
- 5・6月号 神谷まさゆき氏の薬局訪問
- 7・8月号 神谷まさゆき氏の薬局訪問・決起大会
- 9・10月号 神谷まさゆき氏の参議院選挙当選御礼
- 11・12月号 政党への予算要望の成果

### (2) 広報活動

ホームページには神谷まさゆき氏のページを設け、挨拶動画や紹介チラシ等を掲載した。また、本連盟の活動等について掲載した。

## 6 地域連盟への支援

24 地域薬剤師連盟に対して、寄附金の12% (1,516千円) を活動費として交付した。

## 7 自民党・公明党県連予算要望

令和5年度国・県への予算要望(自民党6/9、公明党7/22)を行った。8月16日には、抗原定性検査キット無償配布事業に対するの申し入れも行った。その後、「医療機関等の光熱費等に対する支援」として薬局1施設当たり10万円の支給、「薬局の薬剤配送に対する支援」として、新型コロナウイルス感染症療養者に薬剤配送を行う薬局に対して協力金の支給、「抗原検査キット無料配布事業に対する協力金」として、無料配布事業に協力した薬局に対して協力金の支給が、県の9月の補正予算で措置を講じて頂いた。また、自民党よりの県・国からの回答をホームページにも掲載した。

### (1) 国への要望

- ① 感染症抗原検査キットの販売体制について
- ② 後発医薬品の使用促進について
- ③ 薬価改定について

### (2) 神奈川県への要望

- ① 薬剤交付支援事業について
- ② オンライン資格確認の普及について
- ③ 医薬品提供計画について
- ④ 緊急避妊薬対応薬局について

## 8 政党への支援

自由民主党に、党員100名を登録した。

## 9 議員、首長への支援

黒岩祐治神奈川県知事  
県政報告会参加、後援会5名登録。

## 10 日本薬剤師連盟の会議等への参加

四役会、常任総務会、総務会、評議員会、会長・幹事長会議、東京・関東ブロック協議会、組織強化ブロック会議、企画実行委員会、JPLフォーラムに出席した。